



ほけんだより 10月号

2023年9月29日
認定こども園OURS
保健室

朝晩は涼しくなりましたが、日中は夏のように暑い日もあります。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗い・うがいや衣服の調整などをして、風邪を予防しましょう。

OURSでのインフルエンザワクチン接種について

1回目 10月24日(火) 14:00~

2回目 11月21日(火) 14:00~

★接種当日、予防接種委任状・予診票をお持ちください。

書類忘れや、記入もれ、記入間違いがあった場合には、ワクチンを接種することが出来ません。

記入後の最終確認をお願いいたします。



食べ物に関するお願い



★園の敷地内、園内で、お子さんに食べ物を食べさせないでください。食べながら登園しないで下さい。食物アレルギーを持ったお子さんが落ちているかけらに触れるだけで、アレルギー症状が出る場合があります。

★登園前の食事の際も「初めて食べる食材」を摂取してからの、登園はしないようにお願いします。

成長過程の中で、新しい食材や今まで食べてきた食材でも、アレルギーを発症する場合があります。

★お菓子等がお子さんのバックやポケットに入っていないことを、毎朝、確認してください。

お子さん自身でポケットやリュックにお菓子を入れてくる場合があります。

※職員が気づいた場合はお声がけ、ご連絡をさせていただきますのでご承知おきください。

予防接種歴更新のお願い



OURSでは入園時、進級時に提出していただく成育歴調査書の予防接種歴を確認しています。入園・進級より半年たったお子様で接種可能時期を迎えており、記入や追記がされていないお子様については10月上旬に一度、成育歴調査書を返却いたします。接種したものについては追記していただき、提出をお願いいたします。対象者には別途お手紙を配布いたします。



インフルエンザ注意報発令中

千葉県では9月11日～17日におけるインフルエンザ定点当たり患者報告数が14.54人となり、国が定める注意報基準値(10)を超えたため、インフルエンザの予防対策を更に徹底いただくことを目的に、9月20日に「インフルエンザ注意報」を発令しました。

9月中にインフルエンザ注意報を発令するのは、現行の感染症サーベイランスが開始した1999年以降初となります。インフルエンザの予防のため、手洗いや咳エチケットの励行に努め、重症化の予防のため予防接種を受けることも検討しましょう。

知っておきたい 子どもの目のトラブル

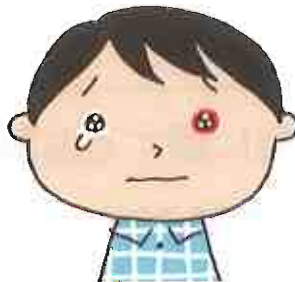
目はとてもデリケート。何気なく触っただけでも、細菌やウイルスが侵入するおそれがあります。目の異常に気づいたら早めに、病院を受診しましょう。

こんなときは要注意



目をこする、まばたきが多い

かゆいときや痛いときは、手で目をこすったり、まばたきが増えたりします。



涙でうるうるする、充血している

目を覆う結膜に炎症が起こっていると、涙が増えたり、充血したりします。



目やにが増える

涙や分泌物が増えるために、目やにが増えます。

流行性角結膜炎 (はやり目)

ウイルスが結膜に感染し、炎症を起こします。目やにが増えたり、白目が充血したりするほか、黒目に白い膜ができることがあります。感染力が強く、うつりやすいため、「はやり目」とも呼ばれます。

おうちでは……

タオルや寝具を介してうつることがあるので、**タオルの共有は避け、枕カバーやシーツをこまめに交換**しましょう。

ウイルスのついた手で目に触ると感染するので、**こまめに手を洗う**ことも重要です。

登園再開の目安 結膜炎の症状が消えたこと

麦粒腫 (ものもらい)

まぶたに細菌が感染して、目の縁やまぶたが赤くはれます。目がゴロゴロしたり痛みが出たりしますが、子どもはうまく言えません。まぶたがはれているときや目をしきりに触るときは受診しましょう。

おうちでは……

ほかの人にうつることはなく、薬を正しく使えばすぐに治ります。ただ、目を触るとぶり返したり、長引いたりすることもあるため、**目を気にするそぶりがあるときは、冷やしたタオルを目に当ててあげ**ましょう。かゆみや不快感がやわらぎます。

登園再開の目安 人にうつらないため、**目を休む必要はありません**

※上記の症状がある場合は眼科、もしくは小児科を受診しましょう。